

小山市スケートボードパーク基本構想

令和6年3月

— 目 次 —

1 構想の背景及び目的	1
2 スケートボードパークを取り巻く環境	2
3 施設のコセプト	6
4 整備候補地の検討	7
5 施設概要	10
6 事業スケジュール	12

1 構想の背景及び目的

近年、若者のスポーツ離れが危惧される中、スポーツ庁においては、従来のスポーツや体育の枠組みに縛られず、遊びの要素を取り入れた「アーバンスポーツ（都市型スポーツ）」が推進されています。そして、先に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、そのアーバンスポーツとして、スケートボードなどが正式競技として採用され、日本人選手が活躍した影響からスケーターが増加しており、全国的にも自治体等によるスケートボードパーク整備の計画が増えてきています。

一方、他都市においては、一部のスケートボード利用者が、公園や商業施設等の使用禁止区域においてスケートボードを行い、器物破損やごみの放置などの迷惑行為により、問題視されています。

本市では、専用のスケートボードパークが整備されていないため、他都市同様、公共の道路や歩道、公園、駐車場などでスケートボードに乗る行為の増加により、歩行者への接触の危険性、騒音等による周辺住民へのストレス、設備等の損傷など、一部のプレーヤーの迷惑行為が問題となっています。スケートボードは他のスポーツと比べ、環境が整備されていないスポーツとも言えるのが現状で、スケートボード愛好家からは、スケートボードパーク設置を求める意見が寄せられていました。

そのため、公共スペースの適正管理や安全確保、周辺住民への迷惑防止の観点からも、適切な場所にその受け皿として専用スペースを設ける必要があります。

また、本市では、児童・生徒を対象とした市民アンケートから、今後やってみたいスポーツとしてスケートボードを選択した子どもが15.9%と多くおり、高い需要が見込まれるスポーツです。スケートボードは専用のスペースがあれば子どもから大人まで手軽に楽しめるスポーツであり、また、世代間交流が図れる場所として、市民ひとり1スポーツを推進するためスケートボードパークの整備を市として進める必要があります。

こうした状況を受けて、本市では、2022年11月、小山総合公園第3駐車場の一部を活用し、無料で利用できる「仮設スケートボード専用スペース（約900㎡）」をオープンしました。既存の専用スペースは、駐車場を利用しているため、路面状態が不安定であること、照明が暗いため日中の利用に限られてしまう、といった課題があります。

安全に安心して利用できる施設とするために、「仮設スケートボードスペース」の利用状況や、施設利用者、愛好家などからのアンケート等による意見を踏まえ、子どもから大人まで多くの人を楽しみ集える場所として、気軽に幅広い世代で利用でき、市民だけでなく広域から利用者が集まる施設整備を目的として、「スケートボードパーク基本構想」を策定します。

(2) 関係者意見

本構想の策定にあたって、スケートボードの有識者として市内スケートボードショップや市内スケートボードスクールの代表者にヒアリングを行いました。

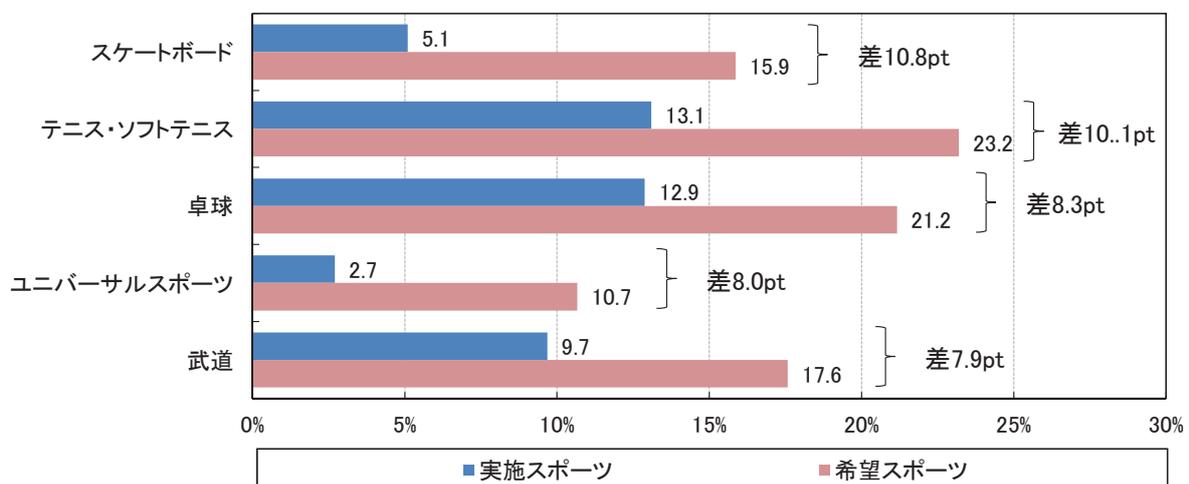
有識者から示された意見は以下のとおりです。

- スケートボードの愛好者の多くは、初心者から中級者レベルで上級者レベルの競技者はほほいないと思われるので、競技者が利用する難しいパークではなく、初級者でも安心して楽しめるパークが求められる。
- パークの設備は「置き型セクション」と「コンクリートセクション」の組み合わせでも、どちらかのみでもよい。一方で、深さのあるセクションは上級者（競技者）向けであり、事故や怪我のリスクが高く危険である。
- 一部の公営スケートボードパークはコンクリートの状態が悪く、危険な状態だと思われる。
- 好まれるパークの要素には「①きれいな路面」、「②夜間利用が可能である」、「③誰もが利用できるセクション」が挙げられる。
- 小山駅前のスケートボードの滑走による迷惑行為は、スケートボードパークを駅から近い場所に整備することで減るとと思われる。
- パークの利用者視点では調整池に整備するという案に抵抗はないが、雨水等で汚れやすく、通常のスケートボードパーク以上に定期的なメンテナンスが必要となる。

(3) アンケート調査結果

「第4次小山市スポーツ推進計画」の策定にあたって実施した児童・生徒向けのアンケート調査では、スケートボードが現在実施しているスポーツである割合が5.1%（296人）、今後希望するスポーツである割合が15.9%（928人）となっています。希望する割合から実施している割合は10.8%であり、これは選択肢にあるスポーツの中で最も高い割合となりました。スケートボードへの児童・生徒の潜在的なニーズは非常に高いものと考えられます。

希望するスポーツから実施しているスポーツを引いた割合の上位5種目



(出典：小・中学生向けアンケート)

また、スケートボードパークのニーズを調査するため、以下のアンケート調査を実施しました。

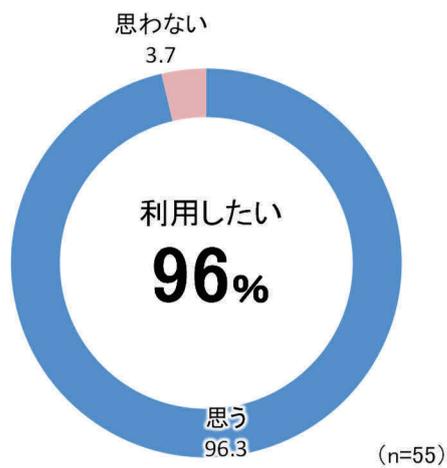
調査概要

調査の略称	対象	回収数	回収方法
スケートボード場の利用意向アンケート	市民	55	Web アンケートにより回収。回答フォームは仮設スケートボードスペースなどに設置し利用者に案内。 【令和4年11月16日～令和5年7月31日に実施】

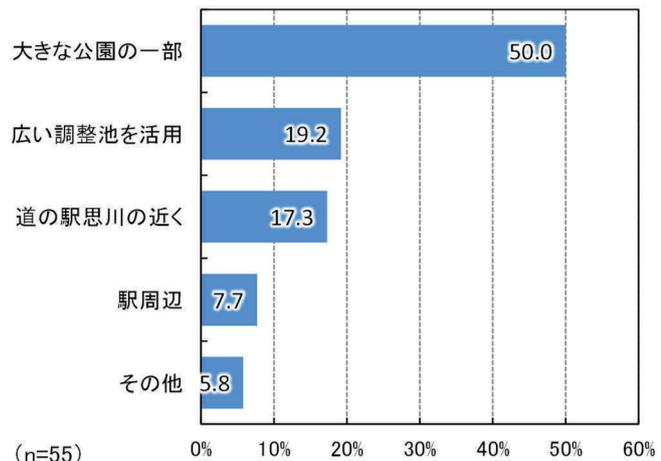
仮設スケートボードスペースで実施したアンケート調査では、施設利用者の96%が今後も利用したいと回答しており、愛好者の受け皿となる公的な空間が必要であると思われます。

スケートボードパークの整備を希望する場所は「大きな公園の一部」とする意見が半数を占めています。利用者の意見を尊重した施設整備が求められています。

今後も利用したいと思う人



スケートボードパークの整備希望場所



(出典：仮設スケートボードスペースアンケート)

(4) スケートボードパーク整備に係る課題

全国のおよび小山市周辺のスケートボードパークの現状や関係者の意見、市民アンケート結果を踏まえた整理を行いました。今後の整備に向けた課題は以下のとおりです。

①スケートボード愛好者の受け皿の必要性

禁止されている駅前の広場や駐車場、道路等の公共空間でスケートボードに乗る行為が散見されています。騒音が発生することで住民への迷惑行為となるだけでなく、通行人との接触事故等の危険行為にもなることから、公共空間の適正管理・安全確保に寄与するためにも、適切な受け皿としてスケートボードパークを整備する必要があります。

②市民の誰もが楽しめる施設の整備

現在の仮設スケートボードスペースは夜間利用が難しいことや路面が荒れている等の問題があり、利用者が十分に楽しめる状況ではありません。スケートボードの愛好者だけでなく幅広い世代が気軽に楽しめる施設とするには、これらの問題を解決し、さらには初心者でも楽しめるセクションの設置や、アクセスしやすい立地であることも求められます。

③安全性の確保と維持管理

定期的な清掃や修繕等の維持管理を怠ると、路面やセクションの状態が悪くなり、利用者が転倒する等の怪我や事故のリスクが高まります。新たに整備する施設は、利用者が安全に楽しめるよう計画的かつ効率的に維持管理を行う必要があります。

3 施設のコンセプト

施設のコンセプトは以下のとおりとし、コンセプトを実現できる整備候補地の選定及び施設整備を行って参ります。

- 子どもから大人、未経験者・初心者から中級者まで、誰もが気軽に楽しめる、バランスの取れたコースレイアウトとします。
- 初心者向け、中級者向け、共有エリアに分けるなど、スキルやレベルごとに利用することができるパークを目指します。
- 初心者や子どもが安心して利用することができるよう、安全管理に配慮します。
- ボウルやランプ、レールなど、様々なセクションを設置します。初心者にはフラットなスペースや難易度の低いセクションを、中級者にはより挑戦的なセクションを設置し、スキルに合った楽しみ方を提供します。
- 利用者のレベルの向上に合わせ、セクションの難度も変更していきます。
- スケートボード教室などのイベントの開催を実施します。
- 仲間づくりやコミュニティの結束を高めることに寄与するパークを目指します。

4 整備候補地の検討

(1) 整備候補地の考え方

スケートボードパークの整備候補地の選定に際しては、本市の抱える課題を解決し、前述の施設のコンセプトを実現できる整備候補地とします。

(2) 候補地の選定

本市の課題を解決するため、2つの視点を基に候補地を選定します。

視点1 愛好者や多くの市民が気軽に利用できる候補地

仮設スケートボードスペース利用者の半数は「大きな公園の一部」での整備を望んでおります。大きな公園は市民の憩いの場であることから、多くの市民が気軽に利用できるという点でもメリットがあるものと思われます。

また、気軽に利用するためには駐車場が確保できることや、公共のトイレ等が整備されていることが望まれます。

このような条件を踏まえ、本市で現在有効活用が可能な公園となっている「小山運動公園」を候補地とします。

視点2 駅前の滑走者の受け皿となり交通手段のない市民も楽しめる候補地

上記の候補地は自動車が利用可能であることが前提ですが、交通手段のない市民でも利用可能な施設を整備することも重要です。また、小山駅前でスケートボードを行う滑走者の受け皿とする必要もあることから、駅近くへの整備も望まれます。

一方で、現在有効活用が可能な駅前の公園がないことや、地域住民の騒音等の問題に配慮し、小山駅から徒歩での利用も可能な「観晃橋付近」を候補地とします。

(3) 候補地の概要

前述のとおり2つの視点から候補地を選定しましたが、性質の異なる候補地であることから、それぞれの性質に合わせて施設整備を行うこととします。なお、本構想ではあくまで候補地であり、整備計画の検討時に改めて精査を行い、実際の候補地を選定することとします。

候補地の概要は以下の通りです。

①小山運動公園

項目	内容
所在	小山市向野 187
想定対象地	第6駐車場の一部 (2,000 m ² 程度)
アクセス	JR小山駅から車で15分
候補地のメリット	<ul style="list-style-type: none">多くの市民が利用する公園であり、市民同士の交流を促せる幹線道路である新4号国道に近接しており、市外からの利用も期待できる駐車場やトイレが整備されており、整備費削減が期待できる小山運動公園との一体的な管理により、安全性の確保とともに維持管理費削減が期待できる
候補地のデメリット	<ul style="list-style-type: none">郊外にあるため、車を持たない人はアクセスしづらい駐車場の代替地として民地の買収が必要となる可能性がある

整備対象地のイメージ及び現況 (小山運動公園)



(出典：google map)

②観晃橋付近

項目	内容
所在	小山市城山町1丁目1付近
想定対象地	観晃橋北側（思川左岸）（700 m ² 程度）
アクセス	J R小山駅から徒歩10分
候補地のメリット	<ul style="list-style-type: none">・城山公園を拠点とした賑わいの創出・多世代交流の促進・小山駅が近接しており、交通手段のない市民も利用可能・街中でスケートボードをしている滑走者の受け皿となる・民家から離れた場所に整備することが可能・駐車場が整備されている
候補地のデメリット	<ul style="list-style-type: none">・河川区域のため、コンクリートセクションは設置できない・増水時はセクションや照明を移動させる必要がある・増水時は利用できない・河川区域への設置のため太陽光を利用した照明となり、十分な照度を確保できない可能性がある

整備対象地のイメージ及び現況（観晃橋北側）



（出典：google map）

5 施設概要

(1) 小山運動公園スケートボードパーク（仮称）

整備内容及び概算工事費は以下のとおりです。なお、現時点の想定であり、今後の基本計画や設計の検討の過程において詳細を決定していくこととします。

①整備内容

- 材質は、コンクリートとします。
- セクションは、コンクリートセクションと置き型セクションの組み合わせとします。
- 夜間利用ができるよう、照明を整備します。
- 周囲にフェンスを設置します。

②概算事業費

路面改修工事	36,000 千円
囲障・照明工事	20,000 千円
置き型セクション設置	16,000 千円
コンクリートセクション設置	33,000 千円
工事経費	85,000 千円
総合計	190,000 千円
総合計(税込)	209,000 千円

※測量、設計等費用は別途計上

(2) 観覧橋付近スケートボードスペース（仮称）

整備内容及び概算工事費は以下のとおりです。なお、現時点の想定であり、今後の基本計画や設計の検討の過程において詳細を決定していくこととします。

①整備内容

- 材質は、コンクリートとします。
- セクションは、置き型セクションとします。
- 夜間利用ができるよう、太陽光を利用した照明を整備します。

②概算事業費

路面改修工事	12,500 千円
照明工事	4,000 千円
置き型セクション設置	7,000 千円
工事経費	20,000 千円
総合計	43,500 千円
総合計(税込)	47,850 千円

※測量、設計等費用は別途計上

(3) 管理運営方法

①小山運動公園

小山運動公園指定管理者による包括管理や公募設置管理制度の活用を検討します。

②観覧橋付近

思川緑地指定管理者による管理とします。

6 事業スケジュール

①小山運動公園事業スケジュール

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本計画の策定	用地関係の調整	基本設計・ 実施設計	施工	施設共用開始

②観晃橋付近事業スケジュール

令和6年度	令和7年度	令和8年度
基本計画の策定	基本設計・ 実施設計・施工	施設共用開始